



あたりまえのことを続ける、やり遂げるといふ姿勢が人間形成に！

加藤 貴央

Kato Takao



F C当別U-15 監督

いいチームを作りたい！

9

9年前に中学生を対象とした当別のサッカージュニアユースを結成しました。当時は小学生の当別サッカー少年団はすでにあつたものの、中学生は部活動以外になく、小学生から中学生までの一貫指導を行い、当別の地元選手を育てる重要性を感じての結成でした。

小樽出身で小中学校ではサッカー漬け、プロ選手にあこがれて室蘭大谷高校へ進学しました。日本にJリーグが出来るのもこの頃で、サッカーの盛り上がりは今以上でした。しか

し高校でレベルの壁は厚くて、厳しい下積みとレギュラーを取れない焦りの毎日でした。それが今の自分のエネルギーになっています。就職後もサッカーを続けたくて、縁あって当別消防署に就職することが出来ました。ここで上司からサッカー指導の誘いがありました。ためらうことなく飛び込み、はじめは札幌のクラブチームでの指導でしたが、当別の子供はサッカーが上手いと感じていたのので地元での指導に本腰を入れるようになりました。

当初指導の目標は、「とにかく試合に勝ちたい。日本を代表するような選手を育てたい。」でしたが、今は「いいチームを作りたい、誰もがプレーでき、いい選手が育つ環境を作りたい。」と変わりました。サッカーも中学生レベルでは技術だけでなく戦術も精神面もすべて重要です。それを伝えきることが自分の役目。他のスポーツでも然りでしょうが、

プロ選手になっても現役は30歳代まで、その後のセカンドステージを生活していくためにも、しっかりした人間形成を行う必要があります。サッカーもそういった一人ひとりの人間教育の一環だと思います。

入団する前に「休まないで3年間続けること。負けない気持ちで精一杯頑張ること。サッカーと同様に勉強もすること。」を約束しています。ピッチでは大きな声で叱り飛ばしていますが、今年、24人のメンバーがそれぞれの力を引き出せるよう見守っていきます。札幌などの強いクラブチームで力をつけてあげたいと親も考えるでしょう。しかし小さなチームで全員プレーできることがうちのいいところなのです。(5月18日取材)

加藤貴央 (40歳 春日町在住、奥さんと1歳8カ月の息子と3人暮らし)